

有限会社 エムコンズ

イメージをカタチにする会社。

看板、レーザー加工、木工、3D 模型など

九戸村大字荒谷 14-73-4/ ☎ 0195-42-3310



事務の人が欲しいという募集を耳にし、働き出して2年になります。でも今は事務というより、Illustrator や Photoshop などのデザインソフトや3Dプリンターなどを用いて、看板やパネル、オリジナルグッズの制作を主にこなしています。実は、こちらにお世話になるまでパソコンもろくに操作したことがなかったのですが、社長の「やってみてくれない？」の一言で、挑戦することになりました。できるかできないかはやってみないとわからないなと思ったので、とりあえずやってみました。操作の仕方は、社長に聞いたり本やネットで調べたりしながら、とにかく自分で試行錯誤しました。なんとか半年ほどで基本的なことはできるようになりました…！もともと、ものづくりが好きなので今は毎日楽しいです。仕事の合間に娘をモチーフにした小物を作ってソフトや機械の扱いを勉強しています。



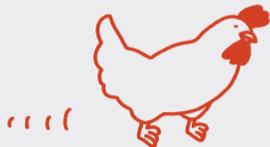
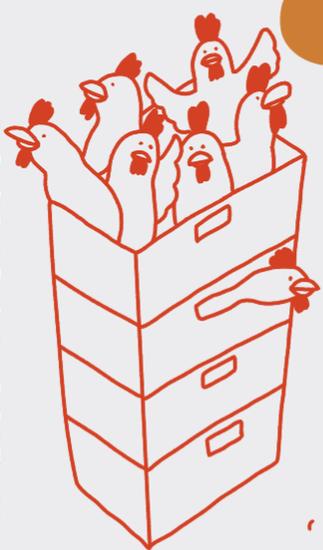
最近の事務所は、機械で溢れかえっています。レーザー彫刻機、3Dプリンター、木工彫刻機、大型プリンターなどサイズ違いも含めると全部で16台もあります。わたしが入社した当初は2台でした。社長がどんどん増やしていくんです(笑)組み立てから、ソフトのダウンロード、使い方まで英語で書かれた説明書をスマホのアプリで翻訳しながら、格闘しています。新しい機械が来るたびに1から習得していかなければならないのは大変ですが、自力で未開の地を進んでいく感じが楽しいです。

お客さんは村内の方が多くいます。施設の看板や、チームTシャツ、販売車の外装など注文は様々です。仕上がった時に喜んでもらえる、とても嬉しいです。最近のイチオシ



体バキバキ、前々職

以前は、鶏舎で鶏を捕まえる仕事をしていました。体育館より広い建物の中に2万5千羽もの鶏がいて、それを7羽ごとに箱に入れていくんです。7羽だとだいたい25kgの重さになります。その箱を縦に4段重ねていきます。最初の頃は、次の日体がバキバキでした。でも、だんだんと慣れていきました。その頃は体がかなり鍛えられていたと思います(笑)



大阪や東京で働いていたこともあります。ずっといい人たちに恵まれてきたなと思います。今まで出会った人それぞれ、いろいろな経験をされていて話をすることがとても楽しかったです。今の仕事でもありがたいことに多くのことを任せていただき、様々な方と関わる機会があることが楽しいです。また、オリジナルグッズをまさざね館で販売しています！手が空いた時にわたしが作っています。これからもちょこちょこ増やしていくつもりですので、見てもらえたらうれしいです。



あら や
荒谷

出身
九戸村

32 ちふ み
千文 さん

村暮らし 19年と、4年

村で生まれ、村で育ちました。両親は、畑と炭焼きをやっています。子供の頃は山や川に行って遊んでいました。晴れた日は、熊よけの鈴をつけて山でかくれんぼをしていました。冬は、山でソリをして遊びました。ある日、友達とソリをしていた時、突然後ろを滑っていた友達が消えたんです！慌てて見に行くと、小さい川のようなところに落ちていました。川に張っていた氷がたまたまその子の時に、割れてしまったようでした。ソリ遊びは気をつけてください！



高校生の時に、進路指導室で最初に目に止まった求人票に応募しました。それがたまたま東京の会社でした。村を出たきっかけはそんな感じです(笑)そして4年前、村に帰ってきました。視野が狭かった学生時代の時よりも、広い視点で村を見れるようになった気がします。もう少し物事を柔軟に考えて、外からの意見や人を受け入れられる村民が増えたらいいのかなと思います。村の好きなのところは、道ですれ違った人だれとでも挨拶をするところです。この習慣は田舎ならではの習慣だと思います。大人がそうしているから、自然と子供もそうするし、挨拶を交わすということはお互いに認識し合うということなので、小さい子供がいる親にとっては安心できます。

楽しく生きる

自分が楽しいと思えることが、1日で1個でもあれば十分かなと思っています。落ち込むようなことがあっても、楽しかったことを思い出せばオールオッケーです。



いもんりー



ストレスがたまった時どうしてますか？

A

自分が好きなことしかしない日を作ります。お酒を飲んで、ひとりBBQをして、お肉をたくさん食べます(笑)あとは、娘と遊んだり。しばらくそうしているとだんだん飽きてきて、仕事をしたくなります！



もり
木 九戸村出身

さつき
紗月 28 さん

去年の7月からこちらで働かせていただいています。それまでは二戸で働いていましたが、村にある家から通いやすいところがいいなと思い転職しました。商工会での仕事は、今までやったことがないことが多く大変な反面、新しい学びや発見があるので面白いです。様々な事業をされている商工会の会員さんたちと接したり、参加する側だったイベントを作る側になったり、今までとはまた違う角度から村を見ている感じがします。裏側へ回ってみて気づいたのは、イベント一つ一つに想像していたよりも多くの団体や人が関わっているということと、「賑わいをいかにして作るか」という観点でみなさんが真剣に取り組んでいるということでした。



最近の主な業務は、経理関係と各種共済手続き、商工会女性部の活動です。女性部の方々はとても明るく元気です。九戸まつり等のイベントで露店出店したり、商店街を花で飾り地域を明るくする花いっぱい運動などの活動をしています。会議の際、意見やアイデアがたくさん出ます。進行をサポートしてくれたり、分からないことがあると教えてくれたりします。いつもありがとうございます！

携わっていたイベントが無事に終わると達成感があります。去年は、コロナで中止になっていたイベントも復活し賑やかな年になりました。九戸まつりや産業まつりなど小さい頃に行っていたイベントの裏側はこんなに目まぐるしく動いていたのかと驚きました。九戸まつりでは、ふれあい広場の管轄が商工会であることも初めて知りました。わたしは、イベントの企画会議でアイデアを出すのは苦手な方なので、つつい聞き手にまわりがちです。少しずつ自分からもアイデアを出させるようになりたいと思います。実際の活動の中で、働きぶりを褒めていただくこともあるので、その点は引き続き、頑張っていきたいです！反省点や改善点もあるので、来年はよりよいイベントにできるよう頑張ります。



また、いち早く業務や事業者さんたちの名前をしっかりと覚え、安心して相談等をしてもらえるよう頑張りたいです。

やってやれないことはない
やらずにできるわけがない

保育園の時に、先生が言っていた言葉です。今でもふと思い出すことがあります。勇気が湧くいい言葉だなと思っています。

九戸村 商工会

地域商工業者に対する経営改善支援、
総合経済団体として地域の総合的な改善発達と
社会一般の福祉の増進を目的に活動する。
九戸村大字伊保内 11-47-1/ ☎ 0195-42-2230



外を知って、村を見ると

村で生まれ、村で育ちました。18歳まで村にいて、仕事の異動で茨城県、長野県、秋田県などにも住みました。県外に住んでみて、案外どこでも住み慣れるものだなと思いました。また、外に出たからこそ、村の好きなところや足りないことに気づきました。自然が多く、人との距離が近い村の空気感や雰囲気が好きです。また、大きい犬も散歩しやすい環境が好きです。あとは、単身者用のアパートなどがもっとあるといいなと思いました。



秋田に住んでいた頃は大阪へ、茨城にいた頃は京都へ旅に行きました。違う地域に行って、自分の知らなかったことや見たことなかったものに触れると、世界が広がった感じがします。茨城県に住んでいた時に、近くに鹿島神宮という神社があったのですが、大きな森の中に神社があるような佇まいでした。通勤通学の人たちが、近道だからと、神宮の敷地内を歩いていくことが新鮮でした。まだまだ、行ったことないところへ行きたいです。出身地なのに、岩手県をまだあまり回ったことがないので岩手も回りたいです。



おすすめ BOOKs

趣味は読書です。ファンタジーやミステリーなどの小説をよく読みます。お気に入りは、乙一さんの「失はれる物語」と石野晶さんの「月のさなぎ」「パークチルドレン」です。石野晶さんは伊保内高校出身の方なので、わたしの先輩です(笑)「ファンタジーセラー」という本の中には、伊保内高校の校舎を連想させる描写があり、なつかしく思いました。ぜひ、読んでみてください！



いもんりー



オススメのお出かけスポットはありますか？



山形県の「小野川温泉」がオススメです。こじんまりと小さい範囲に、何個も温泉があり、ブラブラと入り歩きできます。近くにある「ウフウフガーデン」では、卵料理や美味しいパンケーキが食べられます！



子育ても落ち着いて、そろそろ働こうかなと思った時にこちらの求人を見つけ働き出しました。仕事内容は主に、接客販売と仕入れ・管理です。あとは、店内のプライスカードを書いたり、ポップや立て看板を書かせてもらったりしています。学生の頃から文字や絵を書くのが好きでした。「下上さんが手書きで書いてくれたポップや立て看板は、本当に素敵です。印刷の文字とは比べ物にならないくらい良いです！」 by 社長



挑戦させてもらえてありがたいですね。休みの日に出かけた時は、看板やポップについて目がいきます(笑) いいな!と思うものを見つけたら、アイデアを脳にストックしておき、制作に役立てています。

去年の11月からオープンした「ジェラテリアなかいち」のジェラートのポップや立て看板も書きました。ちなみに一番好きなジェラートの味はラムレーズンです。冬季限定でカレーも始まりました。



時の流れと、これから

こちらで働き出してから6年経ちますが、この6年でいろいろなことが変わりました。大型店が村に増え、ネットショッピングが発達した影響でお店に来るお客さんが減ってしまいました。それでも足を運んでくれるお客さんもいるので、そういう方々が何を求めているのか仕入れの際にはいつも頭を悩ませます。昔からのお客さんが求めている製品が今はもう製造されていないこともあり、要望に答えられないことが悔しいです。店としての立ち位置、客層に応じた品揃えを見直す時が来ているのかなと感じています。



「続ける」ってすごいことだと思います。同じところで長く働いている人を尊敬します。続けた人にしか分からないことがあると思うからです。わたしにとってその一つが「接客」でした。最初の頃は、お客さんの意見や要望に対して上手に対処できず、悩んでいました。でも、そういう時は相手の話や状況を全部聞いて、1個ずつ対処していけばいいのだと分かってきました。あとは慣れもありますね。最初の頃は、厳しい言葉に傷ついたこともありましたが、前向きに捉えられるようになり、お客さんとの楽しい会話を楽めるようになりました。今では、接客が楽しいです。

いもんりー



今の年齢になって思うことはありますか？

A 若い頃は自分本位だったなと思います。正直に好き嫌いを言えいいのだと思っていました。自分勝手だったなと思います。そう思えたのは年を重ねてきたからかなと。こうやってこれからも考え方が変わっていくんだろうと思うと楽しみです。

今は葛巻に住んでいますが、5月には戸田の水芭蕉を見に村に来ます。小学生の頃の行事で見に行ったことが最初だった気がします。今は娘を連れて行きます。水芭蕉が広範囲にたくさん咲いていて見応えがあるところが好きです。



村では、地域の人と気さくに話せる雰囲気が好きです。お互いのことをよく知っていますからね。九戸に限らず人が減っていますが、村外から来てくれる人もいらっしゃるの、そういう人に自分が知らないことやできないことを教えてもらいたいです。そして、わたしや村の人が教えられることを教えたいです。そういう関係が少しずついろいろな人と築けていけたら素敵だなと思います。

焼き芋、焼いてます

一昨年からはじめた焼き芋販売も試行錯誤を楽しんでいます。品種の違いや、産地の違いでお芋それぞれのベストな焼き方・焼き加減を研究しています。塩水につけてから焼いたり、アルミホイルを巻いて焼いたり。茨城県行方市のお芋がとても美味しいです！仕入れは不定期ですが、ぜひ一度食べてみてください。焼き芋は3月中旬まで販売の予定です。



楽しむ

今後の仕事の目標も「楽しくやる」ことです。「なんでも楽しむ」その姿勢を大事にしたいです。

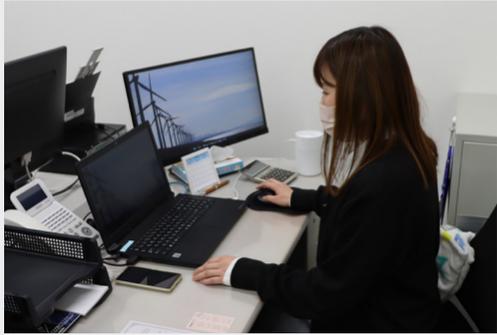
リビングセンターなかいち

文具から家電まで、小さなホームセンター。
九戸村大字伊保内 3-37/ ☎ 0195-42-2131



下 しも
上 かみ
真 ま
理 り
子 こ
さん さん
36
出身 九戸村

わたしは二戸市出身で、結婚を機に九戸に住み始めました。結婚後も、二戸で働いていましたが、子供が2歳になって九戸の保育園に入れられるようになったため、九戸で仕事を探し、今の職場に入社しました。現在で入社10年目となり、約3年前から営業管理部の管理課長をやらせていただいています。仕事内容は、労務管理、経理、総務などです。期限までに仕事を終わらせた時は達成感があります。高等学校商業科で身につけた計算や電卓のスキル、簿記検定などの資格も役立っていると感じています。入社時と立場も変わり、仕事に関して質問されることも増えましたが、正直自分もまだまだ分からないことが多く、一緒に調べながら解決するようにしています。仕事において難しいと感じることはコミュニケーションです。何かを相手に伝えたい時、自分が意図していない内容や主旨で受け取られることがあります。すれ違いが起きぬよう、日頃から相手を尊重する姿勢や言葉選びを心がけています。

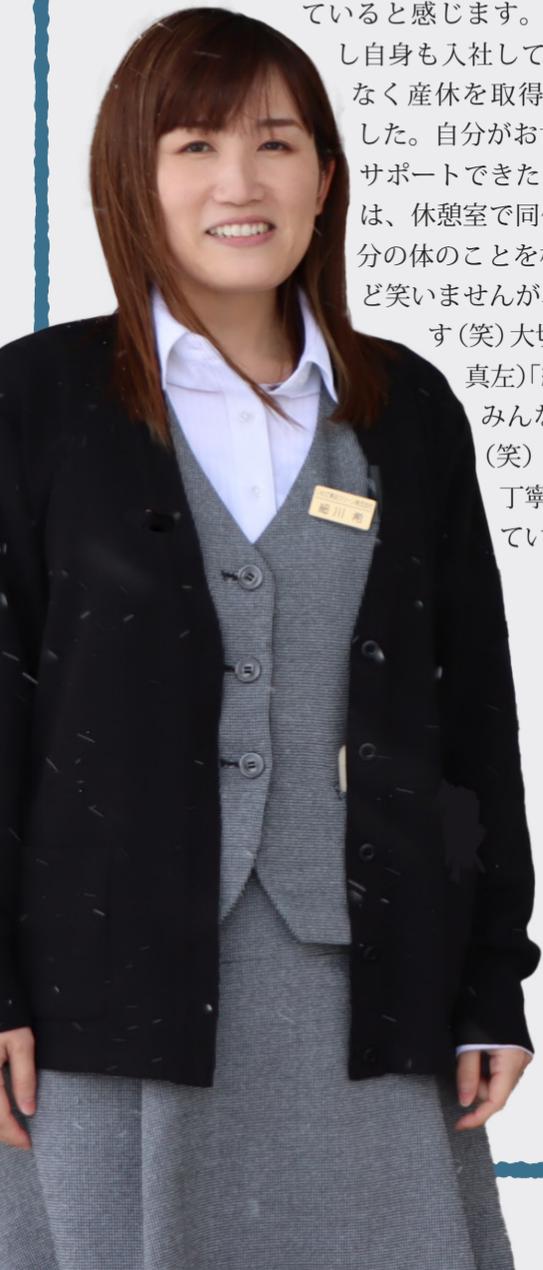


楽をするためにどうするか



わたしはいつも「いかに無駄をなくすか」を考えて仕事をしています。例えば、定期的に取りまとめている集計などが何にも活用されていないなど、この業務は本当に必要なのか常に目を光らせています。入社当初は、「この業務は本当に必要ですか？」と上司に意見していました(笑)。ありがたいことに、会社はそんなわたしの意見も聞き入れてくれて、一緒にその業務の必要性を調べ改善してくれました。「無駄をなくして、なるべく楽をしたい」。これがわたしの永遠の目標であり、業務の効率化に向けたわたしの業務姿勢です。入社当初は仕事量が多く残業もよくしていましたが、今はほとんど定時であがっています。これからも自分の業務姿勢を維持しながら、家族との時間も大切にできるよう努めていきたいです。

もう一つの目標は、休みたい事情がある人が安心して休める会社であることです。この会社は有給や各種休暇の取得に対して理解があり、他の社員のサポートも充実していると感じます。わたし自身も入社してまもなく産休を取得しました。自分がお世話になった分、社員が休みたい時にサポートできたらいいなと思っています。休憩の時間は、休憩室で同僚とよくお茶をしています。家庭や自分の体のことを相談し合っています。仕事中はほとんど笑いませんが、ここではなごやかに喋りしています(笑)大切な時間です。同僚の小笠原瞳さん(写真左)「細川さんは、仕事中は”氷の女王”です。みんな呼び出されるとビクッとしています(笑)でも、質問をすると、いつも何度でも丁寧に教えてくれます。みんなが頼りにしている存在です。」



細 希

のぞみ かわ

さん 出身 36 二戸市

村に嫁いでみて

わたしは二戸市出身ですが、嫁いで来るまで村にはほとんど訪れたことがなく、何があるのかも知りませんでした。村に住むようになって、九戸村は行事が多いと感じましたが、参加することで地域の方々と顔見知りになり自分も周りに溶け込むことができました。また、九戸村は子育て支援の充実や、保育料が安いなど子供を持つ親としてとても助かることが多いです。スキー場やふるさとの湯っこ、オドデ館によく行きます。子どもたちが大好きなのが「オドデまんじゅう」です。オドデ館に行くたびに買って〜とせがまれます。子どもたちが通う小学校の生徒数が少ないことは寂しいなと思います。合併して多くの友人の中で学ばせられたらいいなと思っています。



休みの日は家事や買い物をしたり、ドラマや映画を観たりします。一気にたくさん見ると達成感があり、とてもスカッとします。若い頃はもっぱら恋愛系が好きでしたが、今はミステリーや医療系ドラマなどが好きです。

家族全員がこれからも元気に過ごしていけたらいいなと思います。新婚旅行で行ったハワイに、次は家族で行くことが夢です！



いもんりー

近隣に美味しいおすすめグルメはありますか？

A

八戸にあるクロワッサン屋さんの「yummy's」が好きです！初めて食べたのは館鼻岸壁朝市でした。買って車で食べたらあまりに美味しかったので、車をおりて、もう一度買いに行きました(笑)

自分を信用しない

社会人1年目の時に入社した会社で、女性の上司にビシッと指導されたことがあります。ほぼ毎日ミスをしていたわたしは「この会社はあなたを信頼してこの仕事を任せているの。しっかり責任を持ちなさい。」と怒られました。その言葉を聞いて気持ちが切り替わり、ミスが減りました。今でもこの言葉を思い出します。自分のことを信じないで、何度もミスがないか見直すようにしています。

いわて県北クリーン株式会社

廃棄物の中間処理(焼却処理)
九戸村大字江刺家 20-48-34
☎ 0195-42-4085





大学を出たら、岩手県内で働きたいと思っていました。故郷の力になりたいと思っていたからです。また、様々な業種や地域の方と関わりたいと思ったので銀行を選びました。

伊保内支店には去年の1月から配属になりました。伊保内支店に来る前は二戸支店にいました。

伊保内支店は1組1組のお客様とじっくりやりとりができるところがいいです。また、職場の人たちとの会話が多くのアットホームな雰囲気もいいです。地域の話などを共有してお客様との会話に活用しています。

複数の案件を抱えるのでスケジュール管理を徹底しています。1日で完結する短期間で終わるものもあれば長期間に及ぶものもあり様々です。パソコンのスケジュールへ入力してスケジュール帳へも記入して、紙とデジタルと頭と三重で管理しています。あとは思いついたら小さなことでもすぐにメモをとるようにしています。メモをしないとすぐに忘れてしまうので(笑) 窓口で提案をしたり、ローンの相談に来たお客様の話を聞き対応したときにお客様から「助かりました、ありがとう」「相談してよかった」と感謝されたり、喜んでくれたときにやりがいを感じます。銀行としては当たり前のサービスかもしれませんが、喜びの声を聞くことでさらにまた夢を手助けしたい、頑張ろうというパワーになっています。これからもお客様に寄り添い、信頼される銀行員を目指して日々精進したいと思います。

夢を持った人の力になりたい

今は融資を担当しています。住宅ローンなど個人のお客様や会社を営んでいるお客様など様々な人との関わりがあります。お客様のやりたいことや叶えたいことをお伺いし、そのためにはどうしたらいいのか一緒に考えたり提案をします。また、資料の作成や分析、お金を貸すための稟議書の作成にも励んでいます。融資は多くの知識や経験が必要なので、思っていた以上に奥が深くやりがいがあります。自分には



まだ知識や技量が足りないと思う日々ですが、社会情勢、トレンド、地域の話など様々なことを勉強しながらこれからも頑張っていきます。

上司の立花仁さんによると、「屋形場さんは若いのにいつも冷静で落ち着いています。仕事の量が多い時も、感情に出さずにたんたんとこなしています。複数の案件が同時並行で進むことが多いですが、自分で整理できてこちらが口出しすることもないです。私の方がその姿勢を見習わないといけないと思います。屋形場さんにはこれといった失敗談もないですね(笑)

今は、生まれ育った場所での勤務で、気を使う部分も多いと思いますが、これからまた違う場所でのさらなる活躍に期待しています。」

なるようになる

いつも落ち着いているねとよく言われますが、良くも悪くも「なるようにしかならない」と思っているからだと思います。その時その時、自分にできることをやるだけです。落ち込むことがあっても、寝て起きたら大体ふっきれています(笑)

住み慣れた村、居心地がいい

村で生まれ村で育ち、大学入学の際に村を出ました。今は村に住んでいます。村の暮らしは慣れてしまったので、とくに不便さを感じることもありません(笑) 人は優しいし、挨拶はよくしてくれるし、そういう雰囲気はこのままでいいなと思います。



村外の知り合いの方に「九戸好きだよ」「オブチキ知ってるよ」「コロポックルランド行ったよ」と声をかけてもらうことがあります。うれしいなと思います。

屋形場 楓花さん 25

休みの日は、湯めぐりをしています。温泉やサウナが好きです。湯めぐり手形を片手に県内を巡っています。今の所のマイベストは、西和賀の砂風呂「砂ゆっこ」です。砂風呂が初めてだったので興味津々で行きました。砂はけっこう熱くて、ジワジワと汗をかきました。とても良かったです! また、美味しいものを食べることも好きです。秋田県の「さかはや」のパフェが見た目も華やかで、とても美味しかったです! 岩手県内もけっこう回りました。沿岸をドライブした時に、道の駅高田松原に行きました。広くて綺麗な建造物の佇まいが印象的でした。それとは対照的に津波の跡も残されていてその光景も心に残っています。

お出かけする際に、フィルムカメラを持ち歩くことにはまっています。どんな写真が撮れているのか現像するまで分からないし、いざ現像してみると曲がっていたり、ボケていたりして面白いです。季節を超えて同じカメラで撮影することもあるので、現像した時になつかしい気持ちになるのも醍醐味です。



道の駅 高田松原



岩手銀行 伊保内支店

岩手県最大の地方銀行。
九戸村大字伊保内 12-5
☎ 0195-42-2121



いつもんりー



変わった特技はありますか?



どんな時でも水風呂に入れます! カラダが冷えている時でも大丈夫です。

こちらで働き出して3年目になります。総務の仕事をしています。健康診断の手配や在庫の管理、単発的な注文などを担当しています。また、給料関係の事務を最近教わり始めています。お金がからむ仕事が多いので慎重にやるよう心がけています。扱っている商品がナマモノなので発注ミスも一大事です。また、従業員の方は大先輩の方が多いので言葉遣いにも気をつけています。現在、中国からの研修生が12名ほどいて、さらにミャンマーの方々も来る予定になっています。中国の方とは通訳をしてくださる方がいるのでコミュニケーションに困りませんが、ミャンマー語を分



かる方はいないので勉強しようとミャンマー語の本を買いました。まだ、開いてないですが(笑)

父が社長をしているので、小さい頃からたびたび会社に遊びに来ていました。住まいはずっと二戸ですが、会社が九戸にあるので九戸にも親しみを覚えています。ゆったりとした空気感や気軽にコミュニケーションする距離感が好きです。大学時代を



東京で過ごし就職も東京でした。

祖父の阿部悦三さんと阿部さん

しかし、仕事が合わず、まもなくこちらへ戻ってきました。なつかしい故郷の雰囲気にとってもほっとしたのを覚えています。ずっとこのゆったりしている雰囲気が当たり前の中で育ったので、東京のせわしなさには驚きました(笑)こちらの会社に入社した際も、幼いわたしを知る社員の方々が「大きくなったね」と温かく迎えてくれました。思っていたより早くになりましたが、いずれにしろこちらには戻ってこようと思っていました。外に出てみて、改めてわたしはここが好きだなと思えました。

「うれしい！」瞬間

東京に遊びに行った時に、新大久保でうれしい発見をしました。新大久保は韓国フードが人気ですが、鶏肉が使われたものも多いです。道端で十文字チキンカンパニーと書かれた箱が台車で運ばれているのを見かけました。自分の会社ではなかったですが、岩手の鶏肉がこんなところでも使われているんだ!ととても嬉しくなりました。岩手の鶏肉を、自社の鶏肉を、もっともっと全国展開したい!と思いました。

おいしい焼き鳥
 ゲストさん | 女性 | 40代
 投稿日: 2022年12月26日 11:19
 品名: 【あべどり】焼き鳥&タレ&せせりパック【ファミリーセット】(90日以内に順次出荷(土日祝除く))

●おいしい ●応援したい ●オススメ
 ●大満足 ●レポートしたい

お肉はプリプリで柔らかく、砂肝も美味しかったです。特に鶏皮は臭みもなくさっぱりとした脂味で好評でした。沢山入っているの、今度は付属のタレで楽しみたいです。

このお礼の品を選んだ理由
 おいしそう・面白そうだったから

商品を購入したお客さんから「今までで食べた焼き鳥で一番美味しかったよ」とわざわざ電話をいただいた時は仕事に対してやりがいを感じました。ふるさと納税のコメント欄にも「美味しかった」とあり、うれしかったです。

ふるさと納税の口コミ

わたしも、自社の焼き鳥が大好きでよく買って食べています。50本入りも2人でペロリです。一番好きな串は、「ナンコツ小肉」です。コリコリのナンコツとプリプリの小肉が交互に楽しめます!



実は父が社長ですが、父はあまり家

に会社の商品を持って帰ってくれたことがなく、わたしが入社し自分で買って初めて食べました(笑)鶏肉を使った料理もよく作ります。すき焼き風に味付けしてみたり、パエリアに入れたり。食感が良く、ジューシーで新鮮な美味しい鶏肉だと思います。

本社に直接電話でご注文いただくことも可能です。知る人ぞ知る注文ルートです。販売店で買うよりお得に購入できるかもしれません。お電話はわたしが対応させていただくことが多いかと思います。ぜひ、お待ちしております。

真由子さんはこんな人!

阿部さんの上司である阿部真人さんによると、「阿部真由子さんはとても優秀で助かっています。パワーポイントを使っての資料やポスター作りは僕はまったくできないので、任せっきりです。これからも長く勤めてくれたら嬉しいです。」



村の好きな場所は、オドデ館です。仕事の後にフラッと立ち寄りたりしています。野菜をよく買いますね。安いし、安心感があります。



あとは去年、久しぶりに行われた産業祭りに出店した際に、すごくたくさん人がいて驚きました(笑)九戸村は人が少ない印象でしたが、イベントがあるとみんな集まるんですね。とても活気があって新鮮でした。

有限会社 阿部悦三商店

鶏の加工販売・卸小売業など。

九戸村大字伊保内 13-47 / ☎ 0195-42-3611



全国展開

自社の鶏肉を全国展開することがわたしの夢です!!



いつもんりー



休みの日は何をしていますか?

平日用の作り置きおかずを作ります。あとは、スーパー巡りをしています。昔から好きなんです。店によって、陳列の仕方や置いてあるモノが違うので観察するのが楽しいです(笑)業務スーパーも好きで、月一で行きます。



編集後記

今回、取材と編集をしました九戸村地域おこし協力隊の福島多恵です。取材させていただいた6名の方々は、もともとお世話になっていた方、面識はあった方、初対面の方と様々でした。でも、みなさん共通して親切で楽しい方々でした。心良く、そして丁寧に取材にご協力していただきありがとうございました。せっかくなので、取材での裏話をオフショットとともにお送りします。



荒谷さんは、もともと商工会青年部の活動などでとてもお世話になっている方でした。いつもテキパキと働き、誰よりも気が利く存在です。おちゃらけた部分もあり、楽しい人でもあります。その働きっぷりとユーモアをいつもすごいなあと思っています。今回、写真の撮影もかねて、娘さんソラちゃんとのお散歩に同行しました。このソラちゃんもすごかった！笑。お散歩中、何度も転ぶのですが、すぐ何事もなかったかのように倒れたまま地面の草をいじり始めたり、むくっと立ち上がったりますのです。一見、なにもないような道でも、溝を歩いてみたり、土の上を歩いてみたり楽しそうに歩きます。同じところを歩いていても、ソラちゃんが見ている世界とわたしが見ている世界は違うんだろうなと思いました。荒谷さんの娘だから、こんなにも天真爛漫であると同時に、ソラちゃんがいるから荒谷さんもかっこよく楽しい人なのだろうなと思いました。親子であり、良き相棒な雰囲気がありました。うらやましい！



森さんのことはよくお見かけしていましたが、しっかりとお話したのは今回の取材が初めてでした。わたしの質問に対して、丁寧に回答してくれるところに誠実さを感じました。様々なところに住んでいた経験があるという話が興味深かったです。なんだかんだどの場所でも馴染めたというのがかっこいいなと思いました。わたしもまだまだいろんな場所に住んでみたいので、森さんの言葉は勇気づけられました。

森さんが紹介してくれた言葉。「やってやれないことはない」というフレーズまでは耳にしたことがありましたが、「やらずにできるわけがない」という部分は初めて知りました。本当にその通りだと思いました。「やらずにできるわけがない」はつまり「とりあえずやってみな〜」というポジティブな言葉だと思います。上手くいったらラッキーくらいで、とりあえずやってみる精神を持ちたいです。



下上さんともしっかりとお話をしたのは今回が初めてでした。なかいち養蜂園やジェラテリアなかいちの看板やポップがいつも素敵で一体誰が描いているのだろうと思っていたので、お話が聞けてとても嬉しかったです！看板などは、絵や文字が上手いだけでなく、構図や字体がバリエーション豊かです。その発想の根源はなんなのか知りたい！と思っていました。聞いてみると、日常で目につくものを参考にしたり、社長の意見を取り入れたりしているとのことだったので、特別な訓練を受けている訳ではないんだ！と驚きました。わたしも頑固にならず、そういう姿勢を身につけたいなと思いました。「続ける」ことのすごさの話も沁みました。ついつい、わたしは新しいことに目移りがちなので、続けるということは大変だと思っています。でも、続けた人にしか分からないことがあるという話に、もう少し何事も粘ってみようと思いました。



細川さんとは今回の取材で初めてお会いしました。第一印象は、穏やかで優しくよく笑う方。しかし話を聞いていくと、仕事では効率化に全力投球されていたり、周りの人に氷の女王と呼ばれていた。ギャップがあり驚きました。「これやる必要ある？」みたいな作業はわたしもバイトをしていた頃、思ったことがありましたが、わざわざ誰かに意見したことはありませんでした。なので、細川さんの話を聞いてすごい！と思いました。何かを変えようとするのは、とても労力が必要なことだと思います。それなのにそれをどんどんやっていく細川さんみたいな方にわたしは今まで出会ったことがなかったです。同じ職場にいたら、有難すぎる存在だろうなと思いました。わたしも目先の楽に逃げるのではなく、広い目で見、楽をゲットできるように動きたいと思いました。



屋形場さんとも今回の取材で初めてしっかりと話させていただきました。年が近いですが、なんとも言えない貫禄に驚きました。数時間話したわたしでも分かるくらい、落ち着いています。どれくらい落ち着いているかという、銀行強盗が来ても冷静に対応して、静かに帰らせるんだろうなと思ってしまうくらいです（笑）「なるようになる」と半分諦めているからこそ、落ち着いていられると言っていたのが、それを聞いて、慌ててしまうのはどこかでもっと上手くやらなきゃとかやれるはずだと自分に過度な期待をしているからなのかなと思いました。屋形場さんと話していて面白かったことが、わたしの「座右の銘ありますか？」「特技ありますか？」などの質問に対して、少し考えてから「逆にあります？」と逆質問されたことです。聞かれたわたしもグヌヌとなり、人に質問するくせに自分は答えがないのはずるいなと反省しました。



阿部さんともしっかりと話したのは、今回が初めて。わたしの無茶な質問や要望にも、ほほえみながら答えてくださいました。突然、工場を見たいとお願いした時も、すぐに対応していただきました。案内してくれた従業員さんも丁寧に案内してください、この会社の方はみんな優しい人たちだなと思いました。ありがとうございました。記事には載せていないですが、阿部さんは外国に行った経験が豊富で、そのお話を聞くのも楽しかったです。今まで行った中で一番よかった場所は「ポートランド」らしいです。海が見える住み心地のいい街らしいです。行ってみたい！タイの野良犬は触ったら危ないということも教えてもらいました。狂犬病がうつってしまうらしいです。



今回の取材期間を経て「女性ってやっぱりいいなあ」と思いました。やわらかい声も笑顔も優しさも、疲れた時にとても染み渡りました（笑）取材に行くたびに癒しをもらいました。常に、親切に丁寧に対応してくださる姿勢に強さを感じました。仕事も、自身の考えをしっかりと持ち取り組まれていてかっこいいなと思いました。驚いたのは、年齢に関係なくそれを感じたことです。わたしと年が近い方でも頼もしさが溢れていました。バリバリ働く女性が多くなった昨今。今や、働く女性なしでは社会はまわらないだろうと思います。（人手の数という理由以外でも）男性女性という垣根も無くなりつつありますが、ひとりひとりがもっと輝いていく社会になっていくことが楽しみです。

また、村出身や在住の方が多かったですが、村の良いところ、もっとこうしたらいいかもと思うところ両方の意見をお持ちで、こういう働き世代の方々の意見や考えをもっと村全体が活用していけたらいいなと思いました。

人間とは、己の行った仕事の子供である。

ミゲル・デ・セルバンテス

新聞発行日 2023年2月

新聞発行元 九戸村役場 TEL 0195-42-2111

